

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 eloha		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 12日		～ 令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 12日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童様との関わりの中で、コミュニケーションを取る時間を大事にしている。また、児童様が興味があることや挑戦したいことには、日々のプログラムに取り入れ、成功体験をつめる支援に努めている。	児童様と居る時間を大切し、自身が思っていることや話したい事には耳を傾けている。また、同じ共通点がある児童様同士の中でもコミュニケーションを取れるように支援員が工夫している。	児童様一人一人とコミュニケーションを取る場面を増やしていき、興味を持つことの大切さなどを伝えていきたい。
2	利用時の支援内容・様子などをご家族様と事業所間で共有することが出来ている。	支援の様子は文書だけではなく、写真を添付をするなどして、ご家族様にも具体的にどのように事業所で過ごしているかが確認できるように工夫している。	今後も文章と写真での連絡を継続しつつ、送迎時などにもその日の様子を伝えられるように努めていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族様との交流する機会が少ない。	法人全体や事業所での行事は実施しているが、ご家族様との交流が少ないと感じている。	行事を計画する際にも、ご家族様が参加できるように工夫に努めていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援 いろは		公表日		令和8年 3月 10日			
		利用児童数		3世帯		回収数		3世帯	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3				子供がケガなどしないように工夫されていると思います。	今後も継続し、児童様が安全・安心に事業所での生活・活動が出来るように支援を行って行く。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3				子どもが分かりやすい環境になっていると思います。	今後も児童様一人一人の特性に応じた対応を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3				家族の意向や家での様子を必要に応じて確認して対応をしてくださっている。	今後も一人ひとりに合った環境作りを行い、保護者様とも共有しながら成長を促して行く。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					今後も継続し、ご家族様の意向などを確認し、特性に応じた対応方法や成長段階に合わせた計画書を作成して行く。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					今後も継続し、ニーズの聞き取り・事業所の方向性・必要な支援などを行って行く。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1			祝日などには、屋外活動などのお誘いを受け、行事にも参加させて頂いているので、今後も楽しみにしています。	固定化にならないように、日々の支援を工夫して行く。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2			1			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	1				今後も継続し、家族様が不安などなく、児童様を利用できるように丁寧な説明を継続して行く。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1		2		来年度は、家族等も参加できる会や情報提供の機会等を設けていこうと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3				利用時の様子はHUGから報告してもらえています。	HUGを使用した報告と共に送迎時の保護者様への報告は丁寧に行っていく。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1				日頃の様子も含めて家庭、事業所ともに共有できる環境作りを行ってまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					今後も、日頃の様子も含めて家庭、事業所ともに共有できる環境作りを継続して行く。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1				イベントを通じて保護者様同士の交流ができる内容を検討して行く。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					相談や困りごとについては、いつでも相談できる環境設定を行い、助言できるように努める。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				SNSなどを通して活動の報告は継続して、内容を細かく周知していく。自己評価についてもホームページで公表している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1			契約時などに保護者様にもより周知できるよう説明を行っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。			3		契約時などに保護者様にもより周知できるよう説明を行っていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				今後も児童様が安心・安全に生活・活動ができるように努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2	1			色々な経験をさせてくれていると思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1			今後も安心・安全を第一に考え、児童様の成長に合わせた支援を行っていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 いろは		公表日		令和8年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		特性に応じて支援室を分けるなどして工夫している。	必要に応じてスペースの確保を今後も実践していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		特性に応じて対応を行っており、視覚的支援を中心とした環境設定をしている。	児童様の成長に合わせた支援の変更などがあった際は、都度共有・変更していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		児童様が来る前までに、環境設定を確認している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		課題などを集中して取り組むことが出来るように、環境設定を行っている。	一人一人合った支援を行っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			話し合いの場を設け、職員間で意見を出せる環境設定をしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティング時に意見などを言える時間を作っている。	メモなどを残すなどして情報共有をしていく必要がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年に2回の法人研修や事業所内で実施している。外部では、強度行動障害・虐待防止・権利擁護研修などにも参加している。	研修で学んだことを支援員間でフィードバックし実践できる場を増やしていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムの公表をホームページにて行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		家族様からの意向や職員間でのアセスメントを実施している。	今後も定期的なアセスメントを行い、職員間で共有を行い、ご家族様の意向や児童様の成長に合わせた計画書を作成し、共有していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			職員間で目標などの把握が出来るように、意見が言いやすい職場環境に努めていく。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		職員全員で児童様の強みや課題点などを話し合い、支援に取り組んでいる。	定期的なアセスメントを行いつつ、専門職からの意見なども取り入れていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメントシートを活用している。また、日々の様子等職員間で共有を行っている。	今後も継続し日々の様子等を観察し、抜かりがないように情報共有を行っていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			日々の生活・活動の中で、ニーズやアセスメントを行い、児童様一人一人に合った支援に努めていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	事業所内外での活動のスケジュールを計画しているが、スムーズに実施できないこともあるため、意見が出しやすい場を設けている。	行事計画に対して準備・タイムスケジュールなどがスムーズにできるように職員間で協力していく。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		児童様一人一人の成長や強みなどに合わせたプログラムを実施している。	マンネリ化にならないように職員間で話し合いプログラムを決めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別・集団プログラムに分けている。	児童様一人一人の成長・年代に合わせた支援に努めていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	その日の役割などを確認し、口頭やメモを残すなどして伝達している。	声掛けなどの行い、連携できるように努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		当日に振り返り等が困難な場合は、翌日に支援員間で伝達を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	日々の様子などを正しく、ご家族様が見て分かりやすいように作成している。	不適切な言葉や誤字脱字などがないように、作成時には確認を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月以内にモニタリングを行い、面談時には、ご家族様より日々の様子や思いなどを確認し、計画書の見直しなどを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		担当者会議や関係機関との会議に参加し、支援員全体で情報共有を行っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	必要に応じて連携を行っている。	今後も必要に応じて連携をしてできるように努めていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		法人での行事には、地域にアナウンスをして参加を呼び掛けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		日々の様子などを面談時や送迎時に伝達ができるように周知している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	自宅での様子を聞き取りながら、自宅でもできることを伝達し、協力して頂いている。	ペアレント・トレーニング等を実施できる支援員を増やすことに努めていく。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		面談時や内容変更時に直接説明を行っている。対面で説明が困難な場合は電話や手紙など対応している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童の思いやご家族様の思いなどが伝えられる環境設定をしている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画の説明は6ヶ月に1回行っており、同意を得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		面談時や送迎時に、日々の様子で変わったことなどがあった際は、必要に応じて助言などを行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	実施は出来ていないが、ご家族様が参加できる行事を実施している。	今後、保護者会等の開催を検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	苦情があった場合は、出来る限り迅速に対応できるようにしている。	対応した内容などを支援員間で共有し、迅速に対応できるように努めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSなどを通して日頃の活動やイベント内容など定期的に発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		写真には個人が特定されないようにモザイクをかけたり、書類の外部への持ち出し禁止など徹底している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		文章だけではなく、視覚的支援など、分かりやすく説明している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		年に1回、地域の方や関係機関に案内している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを作成している。変更などがあった際は、都度職員に周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、訓練も年2回行っている。BCPの研修についても年2回実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		利用開始前までに、対応方法などの確認を行っている。また、緊急時の対応や連絡先、服薬をしている児童様には種類・回数などを確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		ご家族様から医師の指示書などを預かるなどして対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画の作成は行えている。	安全面に配慮しながら支援に努めている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	スムーズにご家族様と連携出来ていない状況。	ご家族様とスムーズな連携が取れるように周知徹底に努めていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	発生した際には、書類を作成し支援員間で再発防止策などを検討できるようにしている。	今後も児童様が安全に事業所での活動に参加できるように環境設定を必要時に行っていく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員研修の実施や資料などを用いて、支援現場で適切な対応が出来るように支援員間で話す場を設けているなどしている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		身体拘束が必要な対象の利用者様はいない。		